

事務連絡
令和4年3月3日

各

都	道	府	県
市	町	村	
特	別	区	

 母子保健主管部（局） 御中

厚生労働省子ども家庭局母子保健課

父親に対する相談支援及び両親学級への参加促進について

平素より、母子保健行政に格別のご配慮賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年6月9日に、出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児等を両立できるようにすることを目的として、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律」（令和3年法律第58号）が公布されました。当該法律に係る国会の附帯決議においては、「女性の就業継続を促進するためには男性の育児・家事への参画を促す必要があることから、自治体が実施する両親学級、父親学級等については、より男性が参加しやすく、産後の育児・家事について学ぶものとなるよう、必要な支援を行うこと」との決議がなされております。これを踏まえ、下記のとおり、父親に対する相談支援や両親学級への参加促進及び活用可能な国庫補助事業についてお示ししますので、各市町村におかれては、本事務連絡の趣旨等を十分にご理解のうえ、取組を一層推進していただきますようお願いいたします。

また、各都道府県におかれては、管内市町村に対する助言等必要な支援にご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. 父親の両親学級への参加促進等について

各市町村におかれては、母子保健に関する正しい知識の啓発と普及を図ることを目的として、「母子保健相談指導事業の実施について」（平成8年5月10日付け児発第482号厚生省児童家庭局長通知。以下「児童家庭局長通知」という。）に基づき、両親学級等の開催に取り組んでいただいているところで

す。両親学級等については、児童家庭局長通知に基づき、従前より父親も対象として取り組んでいただいているところですが両親学級等の開催状況等については、「多胎児の家庭等に対する子育て支援に関する調査研究」（令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）において、全国の市町村のアンケート及び

一部市町村のヒアリングを行っております。

同調査研究報告書において、

- ・ 各市町村の父親の両親学級への参加状況（産後より産前が多い）
- ・ 平日勤務後や土日など父親が参加しやすい日時における開催
- ・ オンラインを活用した開催
- ・ 沐浴等の演習を取り入れたプログラム構成
- ・ 育児経験のある父親等との交流の場の提供

等、父親の参加しやすさに配慮した両親学級の開催やプログラムの構成等、自治体の取組事例を紹介しているため、ご参照いただきますようお願いいたします。

※ 多胎児の家庭等に対する子育て支援に関する調査研究報告書 URL

https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210426_13.pdf

2. 活用可能な国庫補助事業について

父親に対する相談支援や両親学級への参加促進に活用可能な事業として、以下のものがありますので、各市町村においては積極的にご活用ください。

(1) 産前・産後サポート事業

令和3年度予算より産前・産後サポート事業を拡充し、新たに出産や子育てに悩む父親支援に取り組む場合の加算を創設しています。

具体的には、

- ① 子育て中の父親による交流会や、子育て経験のある父親による相談支援等を行う「ピアサポート支援」
- ② 父親自身における仕事のスタイルや生活環境の急激な変化に関する悩み等に対応するための相談支援や、必要な知識を習得するための研修を実施する「父親相談支援」

が補助対象となるため、積極的にご活用いただき、父親に対する相談支援に取り組んでいただきますようお願いいたします。

(2) 母子保健対策強化事業

令和4年度予算案において、地域の実情に応じた支援体制等の強化を図ることを目的として、新たに「母子保健対策強化事業」の創設を盛り込んでいます。

本事業は、オンラインによる両親学級を開催するための体制整備や、SNS等を活用したオンライン相談などに活用することが可能なため、必要に応じてご活用いただきますようお願いいたします。

(参考資料)

- 資料1 多胎児の家庭等に対する子育て支援に関する調査研究報告書（抜粋）
- 資料2 産前・産後サポート事業の概要
- 資料3 母子保健対策強化事業の概要

令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業

多胎児の家庭等に対する子育て支援に関する調査研究

報告書（抜 粋）

令和3(2021)年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

【1北区(東京都)】 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援

地域の概要

- 人口 : 353,566人(2020年10月時点)
- 2019年度の出生数: 2,949人(概数)
 - ✓ うち、多胎児の出生数: 34組(68人)
- 地域の特徴
 - ✓ JRや都電等交通の利便性が高い
 - ✓ 都内の中では、物価や家賃が安い傾向にある
 - ✓ ファミリー世帯も多い

■ 母子保健に関する基本情報

- 両親学級の実施: 有※
 - 産前・産後サポート事業の実施: 有※
 - 多胎ピアサポート事業 有(休止中)
 - 多胎妊産婦サポート等事業 無
 - 産後ケア事業実施: 有
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は動画配信により実施中



取り組みの状況

【事業名・事業概要】

(1) はぴママたまご面接

- ✓ 区内在住で妊娠届を提出した妊婦に対し、担当の保健師・助産師が妊娠期から出産後に関するサービスの紹介やセルフプランの作成などを通じ、安心して子育てできるように支援

(2) パパになるための半日コース(両親学級)※現在は動画配信により実施

- ✓ 区内在住でパートナーが妊娠中の父親になる予定の方を対象に、妊娠・出産・育児について学ぶとともに、これから父親になる者同士の交流を図る
- ✓ 感染拡大防止の観点から休止中であるため、NPO法人のノウハウを活用して動画を作成し、ホームページで公開

(3) 産前産後のセルフケア講座※現在は動画配信により実施

- ✓ 産前と産後に一度ずつ、地域の子育て支援拠点である児童館において、NPO法人と協働して母親の心と体のセルフケアについて体験するとともに、参加者同士の交流を図る
- ✓ 感染拡大防止の観点から休止中であるため、NPO法人のノウハウを活用して動画を作成し、ホームページで公開

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- ✓ 国や東京都の補助も活用しながら、はぴママたまご面接におけるタブレット端末を使用した通訳システムの導入や、両親学級の動画配信などを行っている。
- ✓ 体調が安定しなかったり、感染リスクを不安に思う妊婦には、通訳対応のタブレットを活用し、9月からZoomを使用したはぴママたまご面接を実施している
- ✓ 父親の育児参加を後押しするため、単なる育児技術の習得にとどまらず、産後の母親の気持ちの変化や父親としての役割について保健師・助産師から学ぶ場を設けているほか、父親だけでの交流の時間も設けている

【現状の課題や今後の展望】

- ✓ コロナ禍においても切れ目ない支援の実現のため、ビデオ通話アプリを使用したオンライン面接や、動画配信による事業実施などにも積極的に取り組んでいく

ポイント



- ふたりで赤ちゃんを迎える準備をしたい、というニーズを踏まえ、両親学級を実施
- 現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面・集合ができないため、NPO法人に委託し作成した動画を公開

【2 A市】父親の参加しやすさに配慮した両親学級

地域の概要

- 2019年度の出生数：7,944人（概数）
 - ✓ うち、多胎児の出生数：61組（124人）
- 地域の特徴
 - ✓ 政令指定都市
- 母子保健に関する基本情報
 - ・ 両親学級の実施：有
 - ・ 産前・産後サポート事業の実施：無
 - 多胎ピアサポート事業 無
 - 多胎妊産婦サポート等事業 無
 - ・ 産後ケア事業実施：無

取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○母親教室（両親教室）の開催

- ・ 妊娠・出産・育児について、実習や体験談・グループワーク等を通して必要な知識や技術を学ぶ機会として開催。学ぶ機会に加えて、同じ地域に住んでいる、同年代の子をもつパパママとの交流ができる。
- ・ 市内を6つの地域に分け、地域の特性や子育て世帯の状況などを踏まえて、それぞれの地域が主体となって両親学級を企画・開催している。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

※下記は、当市の地域ごとの様々な取り組み・工夫の事例を集約した内容となっている。それぞれの地域で運用しているため、当市での統一的な取り組みではないことに注意。

○対象者が参加しやすい工夫

- ・ 両親学級を、土日や、平日の勤務後に参加できる時間帯（18時半～20時半）に開催し、父親が参加しやすいように配慮。／等

○プログラム運営・内容の工夫

- ・ 民間事業者・NPO・関係団体等に運営を委託し、プログラムの充実を図っている。
- ・ 両親学級での助産師の講話、子育て支援施設からの事業紹介といった内容を盛り込み、父親の育児への関心を高められるよう、プログラムを工夫。／等

○コロナ禍への配慮

- ・ 感染予防の観点から、1回あたりの両親学級の時間を従来よりも短縮し、プログラムの内容を変更。情勢が落ち着くまでは、グループワークの実施を見合わせる等配慮。／等

○その他の取り組み

- ・ 市内の子育て支援施設の取り組みへの協力、地域の育児サークルによる交流イベントなどの取り組みへの協力。／等

【現状の課題や今後の展望】

- ・ より効果的で、質・満足度の高いサービスや支援を提供するには、社会資源の一層の充実が必要。
- ・ コロナ禍で開催中止を余儀なくされた時期があった。今後も当面、こうした状況に対応しながら、妊産婦・子育て世帯の支援を継続できる工夫が必要。

ポイント

- 市内の各地域が主体となって、当事者により近い立場から、地域特性や子育て世帯の状況等を踏まえて、両親学級が企画・開催されている。
- 両親学級については、各地域で様々な工夫が行われており、開催時間帯や曜日の工夫、プログラム運営・内容の工夫、コロナ禍への配慮等が行われている。

【3立川市】 父親も巻き込んだ育児支援

地域の概要

■ 人口 : 184,577人(2021年1月時点)

■ 2019年度の出生者数: 1,325人

✓ うち、多胎児の出生数: 15組(30人)

■ 地域の特徴

「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」

✓ 交通の結節点であり、駅前には事業所や大型の商業施設等にぎわい、一方で昭和記念公園など緑豊かな生活しやすい地域

■ 母子保健に関する基本情報

・ 両親学級の実施: 有

・ 産前・産後サポート事業の実施: 有

- 多胎ピアサポート事業 有

- 多胎妊産婦サポート等事業 有

・ 産後ケア事業実施: 有

取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○ パパママ学級※現在は感染症対策のため、定員を8割程度に抑えて実施中

✓ 初産婦とそのパートナー向けに、昨年度は26回開催し、483組が参加。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

✓ 4つのクラスに分け、平日は、歯科や栄養などの講座を中心としたクラス、土曜日は、沐浴実習やパートナーの参加を想定した妊婦ジャケットの着用体験、パパママの交流するクラスを設けるなど、ニーズに合わせたクラスを選択できるようにしている。

✓ パパママ学級では、育児家庭の孤立を防ぐため、申込者を居住する地域ごとにグループ分けをし、交流を持ってもらうような工夫も行っている。(現在は感染症拡大防止の観点から休止中)

✓ 両親学級の受講生は、3~4か月の赤ちゃんを連れてきた先輩パパママと交流することができるようにし、母親だけでなく父親も、実際に赤ちゃんが生まれた後の生活や役割分担について気づきを得て帰ることができる(現在は感染症拡大防止の観点から休止中)

【現状の課題や今後の展望】

✓ 妊娠届を提出しなかったり、妊婦健診を受けに来なかったりする妊婦の場合、行政では把握することができず、適切な支援ができていないが、そのような妊婦のほうがサポートが必要なことも多く、ジレンマを感じている

✓ 医療機関に健康診断に行った際など、医療機関から情報提供を行政にしてもらって把握し、支援につなげているのが現状。これからは、子育て世代包括支援センターの理念でもある、医療機関との連携を強化し、多胎だけでなく、精神的な状況なども含め、必要な支援を必要とする家庭に届けられるようにしていきたい

ポイント

＜立川市のパパママ学級クラス＞

① 歯科・栄養クラス(月曜日午後) 産科衛生士・管理栄養士が講師を担当します

<ul style="list-style-type: none"> ①産科衛生士の講義 ②栄養士の講義 ③子育てサービスの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦と乳幼児の歯について ・妊婦中の食生活、外食の上手な選び方、産後の栄養 (ご希望により汁物の塩分濃度測定と1日分の食事バランス診断ができます)
---	---

② 講座クラス(月曜日午後) 助産師・保健師が講師を担当します

<ul style="list-style-type: none"> ①お産の経過と役割 ②産後の身体の変化と育児 ③子育てサービスの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・お産の進み方と家族ができること ・産後の生活と育児、赤ちゃんがいる生活を想像してみよう ・赤ちゃんの授乳、母乳育児について
--	--

③ 沐浴・交流会クラス(土曜日午前) 助産師・保健師・臨床心理士が講師を担当します

<ul style="list-style-type: none"> ①沐浴実習 ②産後のメンタルヘルス ③先輩パパママ交流会 ④子育てサービスの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんのお風呂の入れ方 ・妊婦出産を通じたパパとママの心の話 ・先輩パパママとの交流、赤ちゃんと一緒に過ごしてみよう
---	--

④ 沐浴・講座クラス(土曜日午後) 助産師・保健師・臨床心理士が講師を担当します

<ul style="list-style-type: none"> ①沐浴実習 ②産後のメンタルヘルス ③産後の身体の変化と育児 ④子育てサービスの紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんのお風呂の入れ方 ・妊婦出産を通じたパパとママの心の話 ・産後の生活と育児、赤ちゃんがいる生活を想像してみよう ・赤ちゃんの授乳、母乳育児について
---	---

■ 平日と土曜日とで実施内容にメリハリをつけている

■ 平日は講座を中心としたクラス、土曜日は沐浴実習やパパママ交流会を設定することで、パパも参加しやすいようにプログラムを工夫

■ 立川市では多くの家庭がパパ・ママそろって受講している

【4浦安市】夫婦の笑顔が子どもの笑顔に

地域の概要

- 人口：170,302人(2020年10月時点)
- 2019年の出生数：1,229人(人口動態より)
 - ✓ うち、多胎児の出生数：16組(32人)(2019年度妊娠届数より)
- 地域の特徴
 - ✓ 第1期、第2期埋め立て事業を経て市域が4倍となる。元町・中町・新町と3つの生活圏域に区分され、それぞれの地域特性にあった取り組みが行われている。
- 母子保健に関する基本情報
 - ・ 両親学級の実施：有
 - ・ 産前・産後サポート事業の実施：有
 - 多胎ピアサポート事業 有
 - 多胎妊産婦サポート等事業 無
 - ・ 産後ケア事業実施：有

取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○児童虐待防止対策推進事業「プレパパママ講座」

- 児童虐待の発生要因の一つである産後の夫婦関係の悪化を防ぐため、夫婦で協力して子育てすることの意義や、夫婦のパートナーシップについて学ぶ講座を実施する。
- 1回完結型(2時間程度)の講座を年4回開催(6月・9月・12月・3月)、1回あたりの定員17組(ただし、令和2年度は、新型コロナウイルス対応のため、会場参加規模を縮小し、動画配信対応を実施)。講師はNPO法人ファザーリングジャパン。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- 初めて親になる時に向き合う課題と対処方法について学ぶ内容となっている。(親となる男女の自覚の差・産後クライシス・子育てなど)
- 子育てについて夫婦各々の考えや思いを語り合い、他の夫婦とも共有することで、夫婦関係や子育てについて夫婦で考える機会となっている。
- 近くに住む夫婦を同じグループにすることで交流の機会となっている。
- 子どもの育ちと夫婦関係に関するデータや脳科学を用いて理論的な説明をしている。またビジネス場面でも使う手法でワークショップを行っており、プレパパの満足度が高く、夫婦で共通する知識をもって協力して子育てをすることができると喜ばれている。

【現状と課題や今後の展望】

ワークショップは参加者の満足度につながる一方で参加へのハードルの高さにもなっている。母子保健担当との協働で既存の両親学級のプログラムに加わり、より多くの夫婦が受講できるようにしていきたい。

ポイント



浦安市では平成24年度に「浦安市の子どもをみんなで守る条例」を策定。児童虐待の予防のための子育て支援の拡充を目指している。

本講座は日頃、ハイリスク家庭や要保護家庭の支援に関わり、子育てサービスなどの社会的養護施策を実際に「利用している」立場に近いこども家庭支援センターが開催していることで、よりリアルな困り感からの情報提供が可能。

また、産前世帯の声を聞くことで、主催者側も日頃の支援業務にフィードバック出来る側面もある。

【5多治見市】父親参加による両親学級の取り組み

地域の概要

- 人口 : 109,768人(2020年10月時点)
- 2019年の出生数: 608人
 - ✓ うち、多胎児の出生数: 3組(6人)
- 地域の特徴
 - ✓ 岐阜県の南南東、人口約11万人の東濃地方の中核都市
 - ✓ 古くから陶磁器、タイルなど美濃焼の産地として発展
- 母子保健に関する基本情報
 - ・ 両親学級の実施: 有
 - ・ 産前・産後サポート事業の実施: 有
 - 多胎ピアサポート事業 無
 - 多胎妊産婦サポート等事業 有
 - ・ 産後ケア事業実施: 有

取り組みの状況

多胎児家庭支援

【事業名・事業概要】

「パパママスクール」

(事業概要)

- 日曜日に開催する両親学級(月1回程度)。食事クラスと出産・子育てクラスの2クラスを実施。
- これまでは集合型で実施していたが、令和2年度はコロナ対策としてオンライン(ZOOM)を用いた開催に移行している。

※産前産後の教室としては、その他に、妊婦対象の「マタニティセミナー」、産婦対象の「心と体のケアクラス」、産後のパパママを対象とする「パパとママの初めての子育て講座」を開催。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- 食事クラスでは、調理実習を父親中心に実施してもらい、薄味、鉄分の多い食事等を学んでもらう内容となっている。
- 令和2年度は、ZOOMでの開催とし、各自で材料を揃え、自宅からZOOMで参加・調理していただく形式とした。ZOOMの活用にあたっては、新型コロナウイルス対応の国庫補助が出たタイミングで補正予算を組んで対応した。

【現状の課題や今後の展望】

- ZOOM利用は試行錯誤であるが今後は動画編集等も対応できるようにしていく予定。
- 参加者は、比較的意識の高い方が多いため、幅広く参加を促していくことが課題。

ポイント

令和2年度 初めてのママ/パパ限定

オンライン版 ママパパスクール

出産や子育てで、パパの理解と支援がとても大切です。
 教室はZoomにて実施しておりますので、お手持ちのスマートフォンやタブレット、カメラ機能のパソコンから参加いただけます。
 操作に自信がない方に対して、事前にお電話相談を実施しておりますので、ご希望の場合は予約の際にお伝えください。
 初めてのママ/パパは必ず受講をおすすめします☆

内 容	日 ち	時 間	用意するもの
① オンライン版 食事クラス (かんたん・おいしい! フンプレート・クッキング) 赤ちゃんの成長に育つために、家族が健やかに生活できるために、食事を通して親子 ママ/パパ一緒に楽しくリモートクッキングをします♪ 料理の初心者さん大歓迎! *8月25日以上の方 18.5未満の方はお母様の妊娠管理のためにも、ぜひ受講ください。 担当: 管理栄養士・保健師	5月10日(日)	10時00分 ~	ママ/パパ読本 マタニティ食事レシピ エプロン
	9月-6日(日)		
	12月 6日(日)	12時00分	食材 (内容や下準備等の詳細は予約時にお伝えします)
	2021年 3月14日(日)		

毎年のアンケート結果等を参考に、ニーズに合わせ、内容を毎年充実させるようにしている

【6伊達市(北海道)】父親が参加しやすいマタニティ教室

地域の概要

■ 人口 : 33,478人(2020年10月時点)

■ 2019年度の出生数: 173人(概数)

✓ うち、多胎児の出生数: 0組(0人)

■ 地域の特徴

✓ 生活に必要な機能がまちなかに集約されたコンパクトシティ。600人弱の知的障がいのある人たちがまちの中で生活・活動する「ノーマライゼーション」を実践。



■ 母子保健に関する基本情報

- ・両親学級の実施: 有
- ・産前・産後サポート事業の実施: 無
 - 多胎ピアサポート事業 無
 - 多胎妊産婦サポート等事業 無
- ・産後ケア事業実施: 無

取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○マタニティ教室

- ・妊婦さんとご家族が安心して出産・子育てをしていけるよう、妊娠中の不安解消や友達づくりの機会として開催している。
- ・3か月に1回開催(年4回)。出産予定日を基準に、初産の妊婦さんに参加を案内している。
- ・マタニティ教室は、下記の全2回で構成。

【1回目】: 妊婦さんだけでなくご家族で参加できるさまざまな体験プログラム

・開催は土日の午前中。

・内容は、講話、DVD鑑賞、赤ちゃんとのふれあい、先輩パパママとの交流、妊婦疑似体験、沐浴体験

【2回目】: 妊婦さん自身の体のケアに関する内容を中心としたプログラム

・開催は平日午後。

・内容は、歯科の講話、歯科検診、助産師の講話(妊娠中のリラックス、お産の流れ、授乳、おっぱいの手入れ、おっぱいチェック)

- ・マタニティ教室の案内は、母子手帳交付時、市のホームページ、封書などで実施。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- ・第一回目のプログラムは、父親が参加しやすいよう、土日に開催している。
- ・父親が実際に参加することで、妊娠・出産に関する知識が深まり、父親としての育児参加等への意識づけにつながっていることが、参加者アンケート等から把握できている。また、直近数回のマタニティ教室では、全組で父親が参加している。
- ・コロナ禍に始めた新たな工夫として、先輩パパママとの交流をオンラインで実施。育児中の先輩パパママが自宅から参加できるようにした。“先輩パパママ”は、過去のマタニティ教室参加者から個別に依頼。

【現状の課題や今後の展望】

- ・コロナ禍に配慮しつつ、妊婦さんとご家族に寄り添ったプログラムを引き続き実施。

ポイント

- 2回シリーズで両親学級を開催。1回目と2回目とで実施内容にメリハリをつけている
- 1回目は土日に開催し、パパも参加し易いようにプログラムを工夫。2回目は平日に開催し、プログラム構成はママ自身の体のケア等に関する内容を中心としている。交流会ではオンラインも活用。
- 多くの家庭がパパ・ママそろって受講している

伊達市HP: マタニティ教室の案内



<https://www.city.date.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000602.html>

【7人吉市】 パパ学級における「パパ手帳」の活用

地域の概要

- 人口 : 31,588人(2020年10月時点)
- 2019年の出生数: 199人(概数)
 - ✓ うち、多胎児の出生数: 1組(2人)
- 地域の特徴
 - ✓ 九州山地の連山に囲まれた盆地で、市の中央部を日本三急流のひとつ・球磨川が東西に貫流。
 - ✓ 令和2年7月熊本豪雨で大きな被害を受けたが、「球磨川とともに創る、みんなが安心して住み続けられるまち」を掲げ、復興への取り組みを進めている。
- 母子保健に関する基本情報
 - ・ 両親学級の実施: 有
 - ・ 産前・産後サポート事業の実施: 無
 - 多胎ピアサポート事業 無
 - 多胎妊産婦サポート等事業 無
 - ・ 産後ケア事業実施: 有

取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○両親学級・パパ学級

- ・ 母子健康手帳交付時に両親学級・パパ学級を行い、母には、妊娠中の栄養面、妊娠中のホルモンによるメンタルの話など、各専門職からの話を実施。パパ学級は、両親学級のなかの20分程度で、熊本県が発行しているパパ手帳「かっこいいパパになるために」を題材に、母性・父性を養うことを目指している。
- ・ 開催日は、第2・第4月曜日の9時半～11時。以前は妊婦のみの参加が多かったが、ここ2～3年は夫婦での参加が増えている。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- ・ パパ学級は母とは別室対応し、妊婦体験・ベビー人形を使ったおむつ交換・着替えの体験を行っている。県のパパ手帳をもとに指導を行い、学級終了時には、パートナーもしくはベビーに対してのメッセージを記入してもらい、母子健康手帳に貼れるようにしている。
- ・ パパ手帳は県内各市町村で配布しているが、棚に置いておくだけでは、手にとってもらうことは難しい。教室で取り上げることで、関心を持って読んでもらえると感じる。
- ・ パパ学級では、妊娠中の女性のホルモンの変化や、産後鬱などのお話、DVD視聴を行っている。受講した父から、産後の母の様子が気になるという相談の電話があったケースもあった。このように、身近にいるパパがママの変化に気付き、連絡してもらえるようになることが狙いである。

【現状の課題と今後の展望】

- ・ コロナ禍で両親学級を一時中止したため、参加者は以前より減少傾向にある。
- ・ パパ学級に参加してもらい、パパがママの気持ちに寄り添うことで、育児が楽しいと思えるパパ・ママが増えることを望んでいる。

ポイント



熊本県発行の「パパ手帳」を市のパパ学級で活用。

産後のママの健康状態にも気を配り、心配な様子があればパパが気が付いてほしいという思いから、産後のメンタル面についてもパパ学級で話をしている。

【8平川市】父子手帳を父親の育児参画のきっかけに

地域の概要

■ 人口 : 30,764人(2020年10月時点)

■ 2019年度の出生数: 163人(概数)

✓ うち、多胎児の出生数: 1組(2人)

■ 地域の特徴

✓ 青森県南部、津軽平野の南端に位置する。緑が多く、人々が快適な生活を送れる自然環境を保っており、四季の移り変わりが美しく、また、自然災害も比較的少ない地域でもある。

■ 母子保健に関する基本情報

- ・ 両親学級の実施: 有
- ・ 産前・産後サポート事業の実施: 無
- 多胎ピアサポート事業 無
- 多胎妊産婦サポート等事業 無
- ・ 産後ケア事業実施: 無



取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○父子手帳の発行・配布

- ・「父子手帳」は、父親が子育ての楽しさ・喜びを感じながら子育てに積極的にかかわるきっかけとなることを目指して作られた。妊娠期から6歳までの基礎知識、いざというときに役立つ情報、育児情報、育児記録などが盛り込まれている。
- ・配布の対象者は妊娠届けがあったパートナーの方や現在子育て中の父親など。
- ・市内のパパママ教室での配布のほか、平川市子育て健康課(健康センター内)、尾上総合支所、碓ヶ関総合支所、各保育施設などに設置されている。
- ・電子書籍形式の「平川市父子手帳 IKUMEN 子育てガイド」も発行。PCやスマートフォン等から閲覧できる。

○パパママ教室の開催(子育て世代包括支援センター)

- ・地域の父親の積極的な子育て参加を促し、子育ての関わり方や育児の基礎知識を学び、子育ての楽しさや喜びを夫婦で共有することを目指した取り組み。
- ・対象者は妊娠16～36週のプレパパ・プレママ。開催回数は年3回(6、10、2月)。
- ・内容は、講話(妊娠中の生活のお産の経過や栄養等)、体験(妊婦体験ジャケットによる擬似体験や赤ちゃんの沐浴、衣類の着脱等)、体操(妊娠中姿勢動作やマタニティ体操等)など。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- ・父子手帳は、平川市職員からの提案により始まった取り組み。パパママ教室などが、父親に直接配布して周知を図る機会となっている。
- ・パパママ教室の時間帯は、平日勤務時間後の夜間(18～20時)としており、パパが主役のパパママ教室として開催している。

【現状の課題や今後の展望】

- ・昨今のコロナ禍で、パパママ教室の開催は感染症対策が重要。
- ・父子手帳配布、開催時間の工夫といった取り組みについての効果は調査していないため、今後、効果検証や利用者ニーズ等も把握できるとよい。

ポイント



<https://www.city.hirakawa.lg.jp/kyouiku/boshi/fushitecyou.html>

- 父子手帳は電子書籍にも対応。
- パパママ教室を父親が参加しやすい時間帯に開催。

【9海田町】 グループワークを通じた産後の生活の理解促進

地域の概要

- 人口 : 30,264人(2020年10月時点)
- 2019年の出生数: 318人(人口移動統計調査)
 - ✓ うち、多胎児の出生数: 2組(5人)
- 地域の特徴
 - ✓ 15歳未満の年少人口割合が多く、高齢化率が低い。転出入が多く、若い世代の核家族世帯が増加傾向にある。
- 母子保健に関する基本情報
 - ・ 両親学級の実施: 有
 - ・ 産前・産後サポート事業の実施: 有
 - 多胎ピアサポート事業 無
 - 多胎妊産婦サポート等事業 無
 - ・ 産後ケア事業実施: 有

取り組みの状況

【事業名・事業概要】

○パパママ教室

- ・ 妊娠期の夫婦が沐浴体験や妊婦体験を行ったり、産後の生活についてのグループワーク、分娩経過と父親の役割等を学ぶことで、子育てについて考え、父親の育児参加を促すため、パパママ教室を開催している。
- ・ 開催日は、土曜日の9時半～11時半。沐浴・育児グッズの紹介や産後の生活についてのグループワークがメインの回と、分娩経過とお父さんの役割がメインの回を、年に4回ずつ開催している。

【取り組みの工夫点や成功のポイント】

- ・ 産後の生活についてのグループワークは、「父親チーム」と「母親チーム」にわかれて行っている。産後の生活がどう変化するか、各チームでカードを用いて、24時間のスケジュールを組み立てる。
- ・ カードの内容には、以下のようなものがある。家事・育児のうち、父親が何を担い、母親が何を担うかも、チームで話し合っ決めてもらっている。(写真参照)
 - 育児関連(ピンク): 授乳(30分～1時間)、おむつ交換(10分)、沐浴(1時間)
 - 家事関連(黄): ごみ出し、洗濯、洗濯物を干す、洗濯物をたたむ、調理、食事片付け
 - ママの生活関連(青): ママ休憩・睡眠、ママ食事、ママ入浴
- ・ 作業を通じて、具体的な産後の生活のイメージが付きやすくなり、グループワークの中で他の参加者の意見を聞いたり、父親と母親の意見の違いに気付いたりする機会となっている。
- ・ また、各チームのスケジュールを見比べると、父親チーム・母親チームの家事・育児の分担がかなり異なる結果になることもあり、母親が産後してほしいこと、父親自身が自分にできることを考えたりと、参加者がお互い話し合う場となっている。
- ・ パパママ教室では、産後うつにおける周知も行い、特に産後3か月頃までのサポート体制を産前から考えることをおすすめしている。同時に本町のサービスの紹介や、地区担当保健師の周知も行っている。

【現状の課題と今後の展望】

- ・ 産後の支援体制について、産前から家族で話し合うことが大切となるため、産後の生活についてよりイメージが付きやすいよう、経産婦やその家族の体験談「困ったこと」「サポートしてもらって助かったこと」等紹介し、工夫していきたい。



【海田町】グループワークを通じた産後の生活の理解促進

取り組みの状況

ポイント

- 両親学級の参加者同士の交流を目的の一つとしているため、座学だけでなく、グループワークをとりいれている。夫婦が別々になるよう、父親グループ、母親グループにわけて実施している。

お父さんグループ(例)

赤ちゃんとの1日の生活

0:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
1:00	ママ 休憩・睡眠		
2:00	ママ 休憩・睡眠		
3:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
4:00	授乳指導 30分	おむつ交換 10分	
5:00	授乳(赤ちゃんの中心)	授乳(ママの中心)	授乳指導 10分
6:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
7:00	ママ 授乳 30分	授乳指導 10分	
8:00	授乳 30分	おむつ交換 10分	
9:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
10:00	授乳指導 1時間		
11:00	授乳指導 30分	ママ 授乳 30分	
12:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
13:00	授乳 1時間		
14:00	授乳指導 15分	ママ 休憩・睡眠	
15:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
16:00	授乳指導 20分	ママ 休憩・睡眠	
17:00	授乳指導 1時間		
18:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
19:00	ママ 授乳 30分	ママ 入浴 30分	
20:00	授乳指導 15分	ママ 休憩・睡眠	
21:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分	
22:00	ママ 休憩・睡眠		
23:00	ママ 休憩・睡眠		

お母さんグループ(例)

赤ちゃんとの1日の生活

0:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
1:00	ママ 休憩・睡眠	
2:00	ママ 休憩・睡眠	
3:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
4:00	ママ 休憩・睡眠	
5:00	ママ 休憩・睡眠	
6:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
7:00	ママ 休憩・睡眠	授乳(赤ちゃんの中心)
8:00	授乳指導 30分	ママ 授乳 30分
9:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
10:00	授乳 1時間	授乳指導 30分
11:00	授乳指導 30分	ママ 授乳 30分
12:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
13:00	ママ 休憩・睡眠	
14:00	ママ 休憩・睡眠	授乳指導 1時間
15:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
16:00	授乳指導 20分	
17:00	授乳指導 1時間	
18:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
19:00	ママ 授乳 30分	ママ 入浴 30分
20:00	授乳指導 15分	
21:00	授乳 30分~1時間	おむつ交換 10分
22:00	ママ 休憩・睡眠	
23:00	ママ 休憩・睡眠	

出産や子育てに悩む父親支援（産前・産後サポート事業の一部）

R4 予算案：産前・産後サポート事業16.5億円の内数
【令和3年度創設】

目的

- 家族との関わり方に対する不安や、男性の育児参加の促進に伴って生じる出産・子育てに関して悩む父親に対する支援のため、子育て経験のある父親等によるピアサポート支援や、急激な環境の変化による父親の産後うつへの対応を行う。

内容

◆ 対象者

出産・子育てに関して悩む父親

◆ 内容

（1）ピアサポート支援等

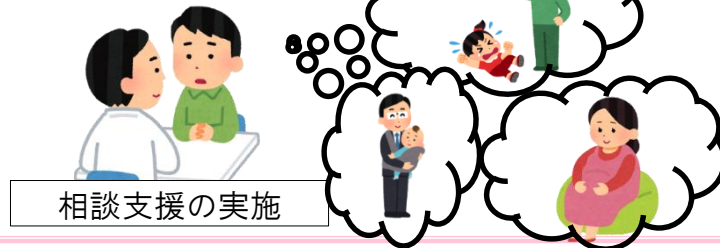
子育て経験のある父親や、現在子育て中の父親による交流会等の実施や、子育て経験のある父親による相談支援を実施することで、子育てに関する悩みや共有や情報交換を行い、さらに子どもや父親のライフステージに応じた子育ての方法を学ぶ場として、継続的な支援を実施する。

（2）父親相談支援

妻の妊娠・出産や子どもの誕生・成長によって生じる、父親自身における仕事のスタイルや生活環境の急激な変化に関する悩みやうつ状態に対応するため、相談支援や、そのために必要な知識を取得するための研修を実施する。



交流会、相談支援の実施



相談支援の実施

実施主体・補助率等

- ◆ 実施主体：市町村
- ◆ 補助率：国1/2、市町村1/2
- ◆ 補助単価案

ピアサポート支援等事業	月額 59,000円
父親相談支援	月額154,800円

事業実績

- ◆ 実施自治体数： -
※令和3年度予算における新規事業

目的

両親学級のオンライン実施やSNSを活用したオンライン相談など、妊産婦等のニーズに応じたアクセスしやすい多様な相談支援を行うとともに、母子保健に関する記録を電子化することで、妊産婦等の状態を適切に管理するなど、必要な支援が行われるよう体制強化を図る。

内容

個々の家庭の状況に応じて、適切な支援を提供できるよう、地域の実情に応じた支援体制等の強化を図る。

- (1) 両親学級等のオンライン実施
- (2) SNSを活用したオンライン相談
- (3) 母子保健に関する記録の電子化
- (4) 各種健診に必要な備品（屈折検査機器等）の整備
- (5) その他母子保健対策強化に資する取り組み

実施主体・補助率等

- ◆ 実施主体 : 市町村
- ◆ 補助率 : 国 1 / 2、市町村 1 / 2
- ◆ 補助単価案 : 6,043,000円